第2回　帛の郷運営推進会議　会 議 録

園　長	次長	係長	主任

令和	5	年	7	月	19	日	（	水	）
午前（○） 午後	10	時	00	分	～	10	時	30	分 まで

司　会	記　録
馬場	馬場

【 出 席 者 】

山田茂樹、樋口玲子、二宮修一、小倉百合子、清野芳明、大橋昇

廣川規之（五泉市高齢福祉課）、山崎浩（五泉小学校校長）

矢部園長、山田次長、田中主任、馬場

計　12名

【 欠 席 者 】

岩村政平

中川律子

議　題	協　議　内　容　・　結　果
1. 開会挨拶	6/1職員1名コロナ陽性となり入居者にも感染者がでた。保健所に報告し指示を受けた。
	職員2名、入居者3名の計5名が感染した。入居者の内1名は入院したが退院すること
	ができ施設に戻って生活している。コロナウィルスのオミクロン株の感染力が強く
	無症状でも感染してしまう状況のため今後も感染予防対策をおこない、入居者が笑顔
	で元気に過ごすことができるよう支援していきたい。
	秋に行っていた感謝祭は不特定多数が集まるため今年も中止とする。
2. 施設概要	・5月1日から7月1日現在の間に女性が1名退去し、男性1名が入居した。
	・6月は感染療養をしており面会中止としたため、面会者延べ人数は少なかった。
3. 入居者等の処遇の状況	・笹団子作りや花苗植え、梅ジュース作り等季節的行事を各ユニットや憩いのホール
	にて実施した。コロナ療養期間が重なりその間は行事を実施することができなかった。
	・日頃本を読まれている入居者とともに外出し本屋にて本を購入した。実際入居者が
	自分の読みたい本を選ぶことができとても喜ばれていた。
4. 入居者様の健康管理状況	○受診（往診）状況（延べ人数）→　5月7件　6月5件
	○入院状況　→　5月1件　6月1件
	・104歳入居者がコロナ陽性となり入院となったが、退院することができた。以前から
	食事摂取量は少ないが栄養補助食品でなんとか補っている状況。

議　　題	協　　議　　内　　容　・　結　　果
5.事故・苦情等の状況	○事故の状況（延べ数）　→40件（そのうち内出血が28件）
	転落（負傷）による行政報告が1件あり。
	○ヒヤリ・ハットの状況（延べ数）　→18件
6.活動実績・今後の予定	・コロナ療養期間があり当初予定していた研修や行事等は延期したりして対応した。
	・新潟福祉医療カレッジの学生による介護福祉士養成実習があったが、コロナ
	療養期間はオンライン実習として学校にて対応してもらった。特に研修期間を延長
	することなく予定の期間で実習終了した。
7.その他（意見交換）	各委員からのご意見
	・高齢者の方は予想しない行動にでるので、職員は様々な想定をしながら対応
	していると思った。
	・104歳の高齢の方が入居されておりびっくりした。
	・自宅であれば「間違えた」でおわることが施設では人様の命に関わることだから
	職員は大変だと思う。
	・友人がコロナウィルスに感染した。施設でも注意して対応してほしい。
	・五泉北中学校と五泉小学校の連携で地域に花を贈る授業をしている。一部は
	商店街へ贈り、帛の郷にも贈る予定としている。
	・コロナウイルスの分類が5類へ移行したことにより、以前は関わることができ
	なかった高齢者福祉を学ぶ機会があると思う。今後状況によっては関わっていきたい。
	・昨年も掲示してもらった小学校の子どもたちの習字の作品について今年9月以降
	に掲示をお願いしたいと思っている。
	（次回開催は9月の予定）